

本牧市民プール再整備の検討状況について

横浜市では、現在休止中の本牧市民プールについて、再整備（建て替え）の検討を進めています。

1 これまでの取組

平成27年10月 「プール及び野外施設等の見直しに係る方針」
・施設の設置の経緯に配慮し存続する。
・再整備の検討を行う。

平成28年8月 民間事業者との対話を実施（サウンディング調査）

平成29年1月～ 民間事業者との対話を踏まえた再整備の検討

2 再整備の考え方

次の内容を基本として、引き続き検討を進めます。

目的

屋外レジャープールを主体に、夏期以外の利用も含めた施設整備を目指します。

事業手法

民間ノウハウの活用を図るため、公共と民間が連携する手法である P F I 事業^{※1}（B T O 方式^{※2}）とします。

規模

- ・屋外プールは、現在の利用人数（最大で1日約4,200人）を踏まえた規模とします。
- ・敷地全体を屋外プールと民間施設として、一体的な利用の提案を求めます。（民間施設の土地は貸し付けします。）

配置イメージ図⇒



※1 P F I 事業：公共施設等の設計・建設・維持管理・運営等を、民間事業者の資金、経営能力及び技術的能力を活用して効率的かつ効果的に実施し、市民サービスの向上やトータルコストの削減を図る事業手法

※2 B T O 方式：民間事業者が自ら資金調達を行い、施設を建設（Build）した後、その施設の所有権を公共に譲渡（Transfer）した上で、その施設の維持管理・運営（Operate）を行う方式

3 想定スケジュール

	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	H34 年度	H35 年度	H36 年度
本牧市民プール	公募準備	公募	設計	建設	建設 供用開始		
横浜プールセンター			公募準備	公募	設計	建設 (閉鎖)	建設 供用開始

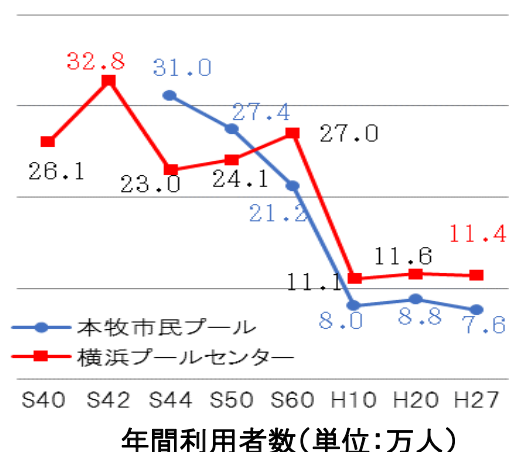
※スケジュールは決定したものではありません。検討状況、予算の状況などにより変更となる場合があります。

4 御意見の反映方法

- ・本日いただきました御意見を参考に、今後、民間事業者の公募にあたって示す施設の条件を検討します。
- ・主な御意見については、公募の資料に記載します。

※参考資料

■利用人数の推移



■平成26年度アンケート調査結果（屋外大規模プール）

Q. どのようなサービスや施設があると、もっと利用したくなるか（回答者数1,555、複数回答）

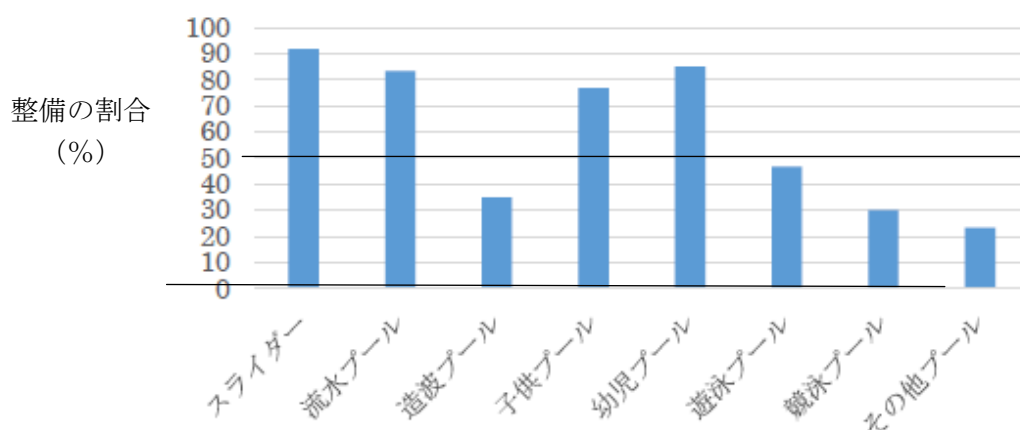
- ・ 飲食・物販の充実（24.3%）
- ・ 休憩スペースを増やす（11.2%）
- ・ 音楽を流す（14.9%）
- ・ プール開園時間を延長する（6.8%）
- ・ プール開園期間を延長する（8.8%）

Q. プールで、増やしてもらいたい道具や設備（回答数610、複数回答）

- ・ すべり台（52.8%）
- ・ プール用道具等（20.5%）
- ・ 脱水機等（9.0%）

■他都市の屋外プール60施設の整備内容について

（年間入場者3万人以上。大人の1日利用料金3,000円以下。遊園地等との複合施設は除く。）



■民間施設のアイデア例（平成28年に実施した民間事業者との対話による）

- ・ 温浴施設、バーベキュー場
- ・ インラインホッケー、スケート場、フィットネス施設、屋内プール等
- ・ 店舗